報 칶



アルミ支柱で苦戦

パイプサポートに代わる支柱 として、アルミ製の支柱製作を 進めていますが、なかなかうま くいきません。

下の写真は、75角支柱が、 約9.6トンで座屈した写真です。 ピン穴で弱所になった部分が 座屈しています。





事実こそが正しい

自動車メーカーと言えば、その先端 技術もスゴイですが、何と言っても、安 全や環境に真摯に取り組む姿勢に は、頭の下がる思いがありました。 技術立国「日本」の看板も、自動車 産業が、先進国である、アメリカやヨー ロッパに、追いつき追い越せと、切磋 琢磨を繰り返してきたからだこそ、と 言っても過言ではないと思います。

その自動車産業で、燃費偽装が 発覚したのです。昨年はフォルクス ワーゲン社が、燃費検査をごまかす ソフトを、車に搭載したことが発覚し、 全世界を驚愕させたばかりですが、 今度は、日本で三菱自動車が燃費 データの改ざん。いわゆる偽装をして いたことが判明しました。

また、スズキも国土交通省が定めた 以外の方法で、燃費の測定をしてい たことを発表し、カタログデータとは いったいなんなのか、消費者は疑い 持ち、愕然とした思いです。

なぜこのようなことが起こるのか、人 間たる生物は、どのような思考をする のか、考えてみるべきだと思います。

自由経済の社会では、競争が革新

のエネルギーです。

他社よりも性能の高いモノを作れば 価格を高くして、利益を上げることが できます。また他社よりも、安く作る 技術を開発すれば、原価を下げる ことができ、他社と同じ価格で販売 しても、より多くの利益が出せます。

技術者は、懸命に他社より優れた 製品を開発し、生産管理者は他社 よりも早く・安くを追及します。 経営幹部からも、売れる新製品を! もっと安く作れる方法で!と叱咤 激励されるのでしょう。そうした状況 の中では、できない人は落ちこぼれ になってしまいます。できないメーカ ーは競争への土俵にも乗れません。 他社に負けていても、負けは認めら ない世界で、競争の原理がゆがん でいくのです。

事実を冷静に見ると言うことは、目 の前の現実を正しく見ること。それ は、物やデータはもちろん、それを 実行している組織・人間を正しく見 るということでもあります。

過度な期待とプレッシャーは事実 をゆがめてしまいがちです。

当社ホームページは http://www.forbuild.co.jp ご覧になれます。

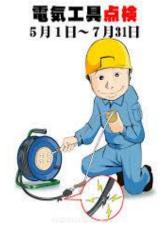
雨のシーズン前には

6月には、梅雨の季節を迎えます。 雨が多く、じめじめした気候は仕事がしに くい嫌な季節です。

雨と言えば、水、水と言えば、漏電・感電と、 電気災害が連想されます。

梅雨の前には、電動工具、リード線を点検し て安全を確認してください。

今月も災害がありませんように・・・・(拝)



2016年 安全成績

■現場災害 H28.1.1-H28.6.4

休業災害 ----- 0

不休災害 ----- 0

物損災害 ----- 0

その他----0

計 ----- 0

■交通災害 H28.1.1-H28.6.4

人身災害 ----- 0

物損災害 ----- 0

計 ----- 0